



NO. 2460
2025. 09. 14

編集発行
日本共産党鶴岡市議団
鶴岡市美原町16-5
電話22-3313

無料生活相談所

関 徹
長者町11-26
24-2414
菅 井 巖
中 桶 9 6
33-0534
長 谷 川 剛
日枝坂本43-10
41-9148
坂 本 昌 栄
稲生2-33-47
24-5993
加 藤 鉦 一
宝徳仲田56
64-3941



新つるおかHP

対話でつくる市民の幸せ

3期目に向け「皆川おさむDEWAビジョン」発表

皆川治市長は、鶴岡市長選挙3期目に向けた選挙政策「皆川おさむDEWAビジョン」を7日、発表しました。選挙向けの「スローガン」ではなく、「政策」の集大成です。来年は鶴岡市が大きく飛躍する年になるとして、

国内最多3つの日本遺産「出羽三山」、「サムライシルク」、「北前船寄港地」、

4つの国民保養温泉地（湯田川、湯野浜、温海、由良）、合併20周年の魅力あふれる観光資源、これまでまいいた種が芽を出し、

対話で、若者・女性・子育て世代に選ばれる住民主体の街づくりを進め、誰一人取り残さず、市民の幸せをつくる、皆川市政3期目に向けて打ち出す「DEWAビジョン」です。



9月7日発表された皆川治市長の政策パンフレット

9月議決 総括質問（菅井 巖議員） 限られた予算で地域の諸課題にどう取り組むか

市長「関係者と行政が力を合わせ取り組んできた。総合的に勘案し進める」
鶴岡市議会9月定例会が8月27日開会され、日本共産党市議団を代表して、菅井巖議員が①決算・市政運営、②高温少雨の対応、③物価高騰対策、④ことも誰でも通園制度について、総括質問を行いました。

地域特性を踏まえた行政運営は大変重要であり、地域に精通した職員配置に意を用いてきた。
引き続き地域課題解決に関わり、活性化に取り組み職員の育成配置に努める。

庄内・最上農林水産業及び行政を視察

▽2日から4日まで、農林水産常任委員会では庄内・最上を現地視察。現場の苦闘・奮闘を実感。
▽鯉川酒造（庄内町餘目） 同酒造社長が県酒造組合会長を務めていることから、①酒米の価格の影響、②酒米の生産状況や課題、③食用米の高騰で酒米も高騰し、かつ不足。
▽庄内たがわ農協（鶴岡市）
①昨年7月の大雨や近年の高温・少雨等以上気象の米生産への影響、②国の米政策へのJAとしての対応、③中山間地でも作り続けられる国の施策が必要」と説明。
▽庄内総合支庁森林整備課 松食い虫の被害と対策の状況。
▽庄内支庁水産振興課・県漁業監視調査船「月峯」 月峯の運用状況と、代船建造の検討にあたっての新旧設備の概要、時に外国船も含む違法操業取り締まりに緊張

感。
▽株式会社平田牧場（酒田市山居町）
①休耕田を活用しておこなわれている「飼料用米プロジェクト」、②酒田京田ミートセンター。



▽株式会社日々・リンゴらっぱ醸造所（新庄市） ジュースやシードル等専用にリンゴを有機栽培、技術的に難しいとされる果樹の有機栽培。甘いだけのジュースではなく渋味も苦味もある本物の味を志向。

▽県立新庄神室産業高校 全国の農業高校等が加盟する農業クラブの活動、地域課題への取り組み。
▽新庄土地改良区 ①大雨被害復旧状況、②小水力発電事業。
（県議 関 徹）

問 市町村合併から20年、地方交付税の一本算定により、財政縮減が進み市政運営に影響を及ぼしている。
限られた予算で、旧市町村、地域・エリアごと諸課題にどう取り組むか。
地域に根差した職員配置はどうか。
市長 合併以降、個性豊かな旧町村と中心市街地で、関係者と行政が力を合わせて取り組んできた。
総合計画後期基本計画に基づき、財政の健全性に留意し、費用対効果と財源確保の観点から、事業の優先を総合的に勘案して進めてゆく。

（1面のつづき）

地域の基幹病院として真心が届く病院祭り「真心フェス」を企画・情報発信を行い、集患を図ってゆく。

診療科拡充では、令和6年度に緩和ケア内科を設けており、当面はこの状況を維持したい。

医師確保は、私や院長が大学医局や個人的な交友関係から、医師派遣・勧誘を行い、7年4月1日時点で医師数は84人で過去最高となっている。

看護師確保は、荘内看護専門学校の移転新築に伴う定員増で、体験事業や実習受け入れ、学校訪問も行い、一定効果を得ている。物価高騰の対応は、

診療材料の共同購入の継続、対象品目拡大を考える。

医療機器の購入では、成功報酬型のコンサル活用での費用削減にも取り組んでいる。

地域医療連携推進法人創設の検討は

問 令和3年6月議会で採択された請願に関し、地域医療連携推進法人創設の検討状況はどうか。

市長 3年度以降、南庄内の地域医療の在り方について、庁内検討会を設置し、医療機関などから聞き取りを進めて来た。

国の新たな地域医療構想のガイドライン検討に基づき、県では8年度以降、新たな地域医療構想を制定することになっている。

その方向性を確認した後、改めて地域医療連携推進法人の必要性も含め対応を検討したい。

自治体DX、人材育成・障害への備えは

問 政府が推進する自治体のDX・デジタル化の拡大に伴い、システム整備・更新の経費はどうか。

人材育成や対応、更新によるスキルアップ対応、システム障害の備えはどうか。

市長 業務システム標準化に関しては、移行整備費が約11億円、運用経費は標準化前の年間1・8億円から約3倍の5・7億円に増加する見込みだ。

標準化整備費は全額が国費で補助され、運用経費の増加分は地方交付税で措置される見込みだ。

課題は、体系的な職員研修と、デジタル化の積極的な意識が十分に根付いていない点がある。

8月から生成AIの活用や、システム標準化の職員研修会を実施している。庁内の業務システムサーバーを正・副の二重化構成とし、障害等発生時のバックアップ体制をとっている。

平和事業の継承の考えは

問 8月9日の「平和の集い」は、修学旅行で被爆地広島を訪れた鶴岡第2中学校3年生による平和の学びの報告発表など、市民が平和への想いを共有し、願う大切な集いとなった。

「平和事業」、「平和教育」の継承・伝承の考えを聞く。

市長 戦争体験者や遺族の高齢化が進む中、時代を担う若い世



渇水・災害対策の「ため池」対応は

問 7月からの渇水対策で、土地改良区など

代への継承・伝承は課題と考える。

今年度は小学校の中高学年を対象とした戦争関連史跡巡りバスツアーや、小中学生の「平和なまち絵画コンテスト」を実施し、若い世代の機会創出に努めた。

戦争のない永遠の平和を決意した平和都市を宣言しており、若い世代に積極的に参画してもらおう方法も検討してゆく。

が管理している「ため池」の対応はどうか。

自然災害・豪雨災害などに備えた課題と対応はどうか。

市長 市の農業利用の「ため池」は102ヶ所ある。

庄内赤川土地改良区管理の大鳥池では、出穂期にあわせ7月29日から放流された他、多くのため池でも対応された。

自然災害に備えた、防災重点農業用ため池が19ヶ所指定されている。

県による豪雨や地震の影響調査が令和5年度まで行われた。大山上池・下池など7ヶ所が、大雨時の排水能力不足や、地震に対する安全率不足が確認され、堤体補強が必要と判断された。

県計画に基づき対策工事がされ、完了が1ヶ所、今年度が1ヶ所で、残り5ヶ所も令和12年度までに工事着手予定だ。

（つづきは次号）

建築課入札結果（ ）内は予定価格

9月4日入札分

- ・ 藤島児童館 2 階屋根改修工事（藤島字笹花58-2）（入札25業者うち19業者辞退）（株）石庄建設 3,800,000円（4,250,000円）工期～10/31（落札率89.41％）
- ・ 市人工芝グラウンド管理棟実施設計業務委託（高坂地内（旧鶴岡病院跡地））（入札13業者うち3業者辞退、1業者無効）（株）菅原設計 3,640,000円（5,580,000円、最低制限価格3,275,546円）期間～8/3/24（落札率65.23％）

環境政策課入札結果（ ）内は予定価格

9月4日入札分

- ・ 鶴岡市一般廃棄物最終処分場 法面補修工事（大荒字荒沢前地内）不調

教育委員会管理課入札結果（ ）内は予定価格

9月4日入札分

- ・ 市立あつみ小学校消火栓ポンプ更新工事（温海字荻田240番地1）（入札7業者うち1業者辞退）山形ニッタン（株）庄内支社 4,460,000円（4,680,000円）工期～8/3/26（落札率95.30％）

教育委員会社会教育課入札結果（ ）内は予定価格

9月4日入札分

- ・ 市指定史跡安倍家住宅屋復原修理工事実施設計業務委託（若葉町15-21）中止

下水道課入札結果（ ）内は予定価格

9月5日入札分

- ・ 市公共下水道事業 汚水1D046-2号新設工事（宝田三丁目地内）（入札1業者）ユーワ（株） 4,040,000円（4,070,000円）工期～12/12（落札率99.26％）

水道課入札結果（ ）内は予定価格

9月2日入札分

- ・ 大山川径600耗水管橋老朽度点検調査業務委託（友江地内）（入札5業者うち1業者辞退、1業者失格）（株）日本水道設計社山形営業所 13,000,000円（15,190,000円、最低制限価格10,454,000円）期間～8/3/13（落札率85.58％）